



西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

見習いたい人

先日、テレビの番組を見ていると、私の心にとまった人がいました。その人は、大阪の堺市に住む男性です。その男性は毎朝、仕事に行く前に駅までの数kmの道のりをゴミを拾いながら歩くそうです。左手にはゴミ袋を持ち、右手には軍手をはめ、サンタクロースの格好をして道々のゴミを拾いながら駅に向かいます。この男性は学生時代からずっと友だちをつくるのが得意でなかったため、地域の方と親しくなりたいと思い、ある日行われた地域の清掃活動に参加しました。そしてその時、地域のゴミ拾いをするによって町がきれいになることにたいへんな喜びを感じたそうです。このことがきっかけで、それからこの男性は毎朝自分1人でゴミ拾いをするようになりました。また、サンタクロースの格好をし始めたのには理由があるようです。目立つ格好をすることで周りの人がゴミ拾いに興味を持ってくれたり、一緒にゴミ拾いをしてくれる人が出てきたりするのではないかという思いがあったようです。しかし、現実と思うほど優しいものではありませんでした。サンタクロースの格好をしているがために、逆にからまれたり、心ない言葉を投げかけられたりもしました。それでも続けていくと、毎日のゴミ拾いの様子を見て「みんなで一緒にやりましょう」と声をかけてくれる人が出てきました。そしてある日、それらの人の声かけでたくさんの地域の人が集まり、思い思いの格好をしてみんなでゴミを拾い、町がたいへんきれいになりました。その後もこの男性は毎朝ゴミ拾いを続けているそうです。

さあ、みなさんはこの話を聞いてどう思いますか。町をきれいにするためにゴミ拾いを続けてきたこの男性はもちろんすごいです。なかなかできることはありません。でも、西中の風第26号でも書きましたが、その姿を見ている人は見ているということです。そして、賛同してくれるということです。

1月に行われた大学ラグビー全国大会で優勝した天理大学主将のコメントが重なります。部活動内で新型コロナウイルスのクラスターが発生して、ラグビーの練習ができなかった時、全国から様々なメッ

セージが届けられたそうです。中にはクラスターを起こしたことでの誹謗中傷、天理大学の学生の教育実習受け入れ拒否など、様々なつらいことがあったようです。でも、天理市民をはじめ全国からの励ましや心温まる言葉など、たくさんの応援メッセージが届いたようです。それを糧に奮起し、一生懸命に練習を重ね、久しぶりに関西に優勝を持ち帰ることができました。身近に練習を見ている人、テレビで戦いぶりを見ている人、人それぞれですが逆境にもめげない一生懸命さに心が打たれ、そのような応援メッセージが届いたのだと思います。まさしく、見ている人は見ているのだと思います。ぜひみなさんも、陰ながら真面目にこつこつと物ごとに取り組んでみてください。見ている人は見えていますよ。見ている人からいつかどこかで支援していただけたと思います。

先生からもらった一言（Ⅱ）

第20号に引き続き、インターネットから拾った「先生からもらった一言」について書きます。ぜひ、みなさんもこれらの「一言」を励みとして、日々の生活を送ってください。

- ・ 上手い下手じゃない。真面目さがいちばん大切
中学2年の息子が、トランポリンの先生からもらった言葉です。おかげで苦手だった運動を諦めずに続けられるようになり、今では目標に向かって頑張っています。息子に自信を持たせてくれた先生に感謝しています。
- ・ 努力して結果が出ると自信になる。努力して結果が出なくても経験が残る

息子が先生からいただいた言葉です。サッカーのために家族と離れて暮らす息子が最近好きな言葉があると、嬉しそうに教えてくれました。しっかり指導してくださっている先生に感謝しています。

- ・ あなたを育てるのは、あなたしかいない

小学生のころ、先生からもらった言葉です。同じ失敗を繰り返して、叱られてばかりいましたが、いつも先生や親がなんとかしてくれるので、甘えていました。この言葉のおかげで、しっかりしなきゃと反省したのを覚えています。

・ぬるま湯につかっていると風邪をひく

中学生の時、勉強も努力も嫌いで、ダラダラと
していました。そんな私を見かねた先生が一言。
楽ばかりしていると良い人生を送れないよ、と。
今もこの言葉を胸に、きちんとした生活を心が
けています。



ホームページを日々更新中！！